平成 21 年度 **事務事業評価シート(ソフト事業用)**

事業				海面漁業振興費							担当	部名	産業経済部
		事務事	業名								部	課名	農林水産課
166											署	電話	82 - 1959
総施	策	の大	、綱	第 3 部 元気で活	気ある	ふれるまち			予			款	農林水産業費
合	策	名(:	章)	第 4 章 豊かな水	産資》	原を生かした	こまちづくり		算 会 科 計	一般会計		項	水産業費
画施	策	名 (í	節)	第 1 節 活気あふ	れる漁	魚業の振興			目			目	水産業振興費
事業開	開始 [。]	·終了st	丰度	平成	8	3 £	丰度	^	_	平成			年度
根拠	法令	・要綱	岡等	無		•							
計	画	掲	載	射水市総合計画実施	計画	有	13	頁	個別計画				_

事業	対 象 (誰を·何を)	全県民
目的	意 図 (どのような状態に)	水産資源の回復、増大を図るための稚魚(種苗)の放流及び中間育成事業の実施
事業内容	手 段 (どのような方法で)	平成21年度稚魚放流業務実績(年4回実施) 8月3日 ヒラメ 15,000尾 新湊、海老江、堀岡地区 9月3,4日クルマエビ 180,000尾 新湊、海老江、堀岡地区 9月9日 トラフグ 4,000尾 堀岡地区 9月16日 クロダイ 10,000尾 新湊地区 なお、放流事業は、新湊漁業協同組合へ委託している。

		指 標 名		指標名 単位 H20年度				H21年度			H22年度 H 29 年度		
				実績	目標	実績	達成率	目標	最終目標	達成率			
月 果	Į.	稚魚中間育成及び放流業務による稚魚尾数	尾	126,000	205,000	209,000	102.0	196,000	200,000	98.0			
指標													

	指標名	単位	H20年度		H21年度		H22年度
	1日 1宗 石	丰山	実績	目標	実績	達成率	目標
活動	稚魚中間育成及び放流業務を行った地区数	地区	3	3	3	100.0	3
指標							

		事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事	直接事業費	1,462 千円	1,176 千円	19.6	1,166 千円
事	業	人 件 費	207 千円	204 千円	1.4	204 千円
業	ココ	退職手当引当金相当額	30 千円	30 千円	0.0	30 千円
費	· -	事業コスト計	1,699 千円	1,410 千円	17.0	1,400 千円
人	財	国県支出金	千円	千円		千円
員	源内	そ の 他	62 千円	10 千円	83.9	千円
	訳	一 般 財 源	1,637 千円	1,400 千円	14.5	1,400 千円
	<u></u>	当該事務従事職員数	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の基本方針に合わせて、基本計画を作成し、富山県栽培漁業基本計画が決定する。それに基づいて、放流事業が 行われるため。
有効性	3	富山県栽培漁業推進協議会において、県水産研究所から放流事業における放流効果があると評価している。
達成度	4	富山県栽培漁業推進協議会において、県水産研究所から放流事業結果について、放流の効果が認められる報告がある。
効率性	4	栽培漁業を一層計画的かつ効率的に推進するため、技術の開発、普及、指導等を促進し、漁業者にさらに定着するように努めること。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	富山県水産研究所において、種苗の改善、放流方法、 放流適期、放流適地などの検討に取り組んでいる。

事	¥ 167	補助金の名称	漁獲共済補助金	担当部署	部名課名電話	産業経済部 農林水産課 82-1959
総	施策	の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち 予		款	農林水産業費
百計	政 策	名 (章)	第 4 章 豊かな水産資源を生かしたまちづくり 算 会 科 計 一般会計		項	水産業費
合計画	施策	名 (節)	第 1 節 活気あふれる漁業の振興 間 目		目	水産業振興費
裤	助	期間	平成 18 年度 ~ 平成		-	年度
相	限拠法令·要綱等 射水市漁獲共済掛金補助金交付要綱 ります かいりょう かいりょう かいかん おおお おおお かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん か					
事業	(対象 交付先)	「漁業者」市内に住所又は漁船の主たる根拠地を有する者で漁業を営む者			
目的	(褚	意図 輔助目的)	漁業経営の安定化を図るため			
事業内容	(∄	手段 Eな活動)	漁業災害補償法に規定する漁獲共済に加入している漁業者に対し、補助金を交の	付す	3	

		指標名	単位	H20年度	H21年度		
		作 惊 节	半世	実績	目標	実績	達成率
إ	龙果 旨漂	漁獲共済に加入している漁業者数	件	31	31	28	90.3
3	指票						

施設等整備費補助

その他(

政策的補助

事業費補助

利子補給

	平成1	9年度		平成20年度		平成21年度
	(金額)	6,170 千円	(金額)	6,277 千円	(金額)	6,082 千円
	(件数)	32 件	(件数)	31 件	(件数)	28 件
交付実績	補助区分		内	容		上限額
	定額補助					千円
	定率補助	本人負担額の20%	6を補助			上限額は、補助区分が「定
	その他					額補助、「その他」のみ記載

評価項目	点数	説明
妥当性	4	漁業者の負担を軽減することにより、漁業者の経営の安定を図る。
有効性	3	漁業者が安心で安全に漁を営むことができる。
効率性	4	補助金のすべてが共済掛金の一部となる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
Α	漁業経営の安定化を図るために必要である。

団体運営費補助

格差是正補助

類 型 区 分

		半风	į 2	1 牛	-	分	葉評価シート(神	助金	業	用)					
	業 168	補助の名	金称	漁船	沿保険料補助金						1	当日部	部名課名	産業経済部 農林水産調	#
総	施策	 の 大		-1-	3 部 元気で活気あ			予算	会	фП и		耆	電話款	82 - 195 農林水産業	
合計画	政策施策	名(餌	声) 節)	第一第	1 節 活気あふれる	漁業の			計	一般会	₹ aT	-	項 目	水産業費水産業振卵	興費
補助期間 平成 19 年度 平成 - 年度 根拠法令·要綱等 射水市漁船保険料補助金交付要綱															
事業	(対象 交付先)		「漁業	業者」市内に住所又は	漁船の)主たる根拠地を有す	る者で派	魚業	を営む者					
目的	(∤i	意図 輔助目的)		漁業	経営の安定化を図る	ため									
事業内容	Ė)	手段 Eな活動)		漁船	損害等補償法に規定	ごする漁	魚船保険に加入してい	保険に加入している漁業者に対し、補助金を交付する							
類	型	X	分		団体運営費補助		事業費補助		施	设等整備	費補助			政策的補助	
格差是正補					格差是正補助	利子補給 その他()					
					指標名	í				単位	H20年 実績		目標	H21年度 実績	達成率
成	4	+ 各 洛 加 :	*h							隹	1	11	1	11 125	0F 7

	指標名	単位	H20年度		H21年度	
	打印 1床 TD	丰山	実績	目標	実績	達成率
成果	対象漁船数	隻	141	141	135	95.7
指標						

	平成1	9年度		平成20年度	平成21年度			
	(金額)	3,686 千円	(金額)	3,532 千円	(金額)	3,221 千円		
	(件数)	146 件	(件数)	141 件 (件数		135 件		
交付実績	補助区分		内	容		上限額		
	定額補助		千円					
	定率補助	本人負担額の15%	上限額は、補助区分が「定					
	その他					額補助」、「その他」のみ記載		

評価項目	点数	説明						
妥当性	4	漁業者の負担を軽減することにより、漁業者の経営の安定を図る。						
有効性	3	心で安全に漁を営むことができる。						
効率性	4	補助金のすべてが保険料の一部となる。						

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
Α	漁業経営の安定化を図るために必要である。

事	業	補助金 の名称	いみずマリンバイオテ	<i>.</i>	ᆥᄼᆓᅑᄼᅓᄡᄼ			担当	部名	産業経済部 農林水産課	
	169	の名称	いか9 マックハイオブ	ソノレ	1ン一切九云補助五			当部署	課名 電話	長M小生味 82-1959	
総	施策	の大綱	第 3 部 元気で活気あ	ふれる	まち	予			款	農林水産業費	
合計	政策名 (章)		第 4 章 豊かな水産資	源を生	かしたまちづくり	算 科 詰	会 一般会計		項	水産業費	
画	施策	名 (節)	第 1 節 活気あふれる	魚業の	振興	。 「目			目	水産業振興費	
補	助	期間	平成	18	年度	~	平成		-	年度	
枆	見拠法 🤇	ŷ·要綱等	無								
事業	(:	対象 交付先)	新湊漁業協同組合 組合員等								
目的	(補	意図 助目的)	富山湾の環境保護と調和した栽培漁業の振興								
事業内容	内 (主な活動) 新湊漁協をはじめとした産業界、富山大学並びに県の研究機関等、いわゆる産学官の協同による研究開発を										
类	型	区分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助]		政策的補助	
大!	R 32		格差是正補助		利子補給		その他(研究費補	助)	

	指標名	単位	H20年度		H21年度	
	JH 1ax □	丰世	実績	目標	実績	達成率
成果	取組む研究課題について	件	6	3	3	100.0
指標						

	平成1	9年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	2,000 千円	(金額)	2,000 千円	(金額)	600 千円		
	(件数)	6 件	(件数)	6 件	(件数)	3 件		
交付実績	補助区分		上限額					
	定額補助	平成21年7月2日	3とやまマリンハ	バイオテクノロジー研究協議:	会は解散	2,000 千円		
	定率補助		し、同会の研究成果を引継ぎ推進する組織として、いみずマリンバイオテ					
	その他	クノロジー研究会を	:同年11月に設	と立し、継続的に研究を行っ	ている。	上限額は、補助区分が「定 額補助」、「その他」のみ記載		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	栽培漁業の振興に関して、研究課題の事業化を目指して、漁業関係者等の連絡調整を行い、研究テーマの選定をは じめ当該研究の実施研究機関を支援することと研究推進を目的とする。
有効性	3	とやまマリンバイオテクノロジー研究協議会の活動で蓄積された成果をもとに富山湾沿岸域におけるイワガキの養殖 試験等に関する研究を新湊、堀岡地区内で事業化に向けて推進している。
効率性	4	新湊沖定置網等の実験施設において、貴重なデータが収集され、事業化に向け推移している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	事業化に向け、外海である富山湾でのイワガキ養殖の ノウハウを蓄積させるための研究を継続し、その成果をも とに施設拡充の計画をたて、事業化に向けて進んでい る。

事	業	補助金の名称	内:	水面漁業振興費					担当	部名課名	産業経済部 農林水産課
	170	の名称	r J.	J.M. M. X. M. X. J.					当部署	電話	82 - 1959
総	施策	の大綱	第	3 部 元気で活気あ	ふれる	まち	予			款	農林水産業費
総合計画	政策名 (章)		第	4 章 豊かな水産資	源を生	かしたまちづくり	算料	会 一般会計		項	水産業費
画	施策	名 (節)	第	1 節 活気あふれる	魚業の	振興	目	A1		目	水産業振興費
裤	助	期間		昭和 6	31	年度	~	平成		-	年度
柜	根拠法令・要綱等 無										
事業	(:	対象 交付先)	大門	門漁業協同組合等							
目的	(補	意図 輔助目的)	鮎の	鮎の中間育成等							
事業内容	事 手段 富山漁業協同組合神通鮎増殖場より鮎種苗を購入し、漁協の育成施設に搬入、中間育成及び河川放流を行う。										
类	. 型	区分		団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補	助		政策的補助
尖	4 7Z	△ ガ		格差是正補助		利子補給		その他()
								l luor	作度		⊔21年度

	指標 名	単位	H20年度	H21年度		
	打印 1床 TD	丰山	実績	目標	実績	達成率
成果	鮎種苗数(大門漁業協同組合)	尾	260,117	280,000	344,463	123.0
指標						

	平成19年度			平成20年度	平成21年度		
	(金額)	220 千円	(金額)	220 千円	(金額)	220 千円	
	(件数)	296,061 件	(件数)	260,117 件	(件数)	344,463 件	
交付実績	補助区分		内容			上限額	
	定額補助				220 千円		
	定率補助	水産資源の増殖と	内水面漁業の排	辰興に効果が期待される		上限額は、補助区分が「定	
	その他					額補助」、「その他」のみ記載	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	鮎の中間育成及び稚鮎放流を行う。
有効性	3	鮎種苗の購入、中間育成及び放流用稚鮎の生産、そして販売、河川放流を行う。
効率性	4	個体群の保全、遊漁者への好漁場の提供に効果が期待できる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	水産資源の増殖と内水面漁業の振興を図るため、鮎中間育成及び稚鮎の放流を行う。

事	業	補助金	der vale v.A. veld make de 11 mile				Ж,	部名	産業経済部
	172	の名称	新湊漁港建設費				部署	課名 電話	農林水産課 82-1959
総	施策	の大綱	第 3 部 元気で活気あふる	れるまち	予			款	農林水産業費
台計	合 政策名 (章		第 4 章 豊かな水産資源	を生かしたまちづくり	算 会 ——科計	一般会計		項	水産業費
圖	施策	名 (節)	第 1 節 活気あふれる漁	業の振興				目	漁港建設費
补	甫 助	期間	平成	年度	~	平成	-	•	年度
相	見拠法令	〉· 要綱等	県の行う建設事業に対するで	市町村の負担について	(昭和47年2月)	定例県議会·3月	22	日議決	<u>t)</u>

事業	対象 (交付先)	新湊漁業協同組合							
1									
事業内容	手段 (主な活動)	漁港施設の機能診断、機能保全計画の策定、保全・更新工事を一貫して実施することにより、施設の長寿命化と 更新コストの平準化・縮減を図る。(施設の更新・補修・修繕工事等)							
类	1 型 区 分	団体運営費補助 事業費補助 施設等整備費補助 政策的補助							
犬		格差是正補助 利子補給 その他(県の施設のため、負担金になります。)							

	指標名		単位	H20年度	H21年度		
		指标 位		実績	目標	実績	達成率
成果		広域水産物供給基盤整備件数	件	3	1	1	100.0
指標		ストックマネジメント件数	件	1	3	1	33.3
		県単独漁港施設整備件数	件	0	1	1	100.0

	平成19年度		<u>ī</u>	P成20年度	平成21年度		
	(金額)	21,990 千円	(金額)	10,682 千円	(金額)	4,224 千円	
	(件数)	2 件	(件数)	2 件	(件数)	1 件	
交付実績	補助区分	内 容			上限額		
	定額補助	·広域水産物供給基	基盤整備事業(国50%、県35%、市15%			千円	
	定率補助	・ストックマネジメン	上限額は、補助区分が「定				
	その他	その他・県単独漁港施設整備(県60%、市40%)				額補助」、「その他」のみ記載	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	県の行う建設事業に対する市町村の負担に基づいて行っている。
有効性	4	県の施設のため、県が計画的に事業を進めている。
効率性	4	補助金(負担金)のすべてが事業費の一部に当てられる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	水産物の陸揚、流通の拠点となっている漁港、産地市場において、消費者の食品安全志向の高まりに対応し、安全で高鮮度の水産物を供給するため、衛生管理の向上に必要な施設の整備を行うことを目的とする。